

「富富富」の一般栽培は今年で5年目となり、順調に需要が伸びています。
「富富富」は、近年の高温条件下でも高い品質を得られますが、収量を求め過ぎると、品質や食味、収量の低下につながります。
栽培マニュアルに基づいた栽培管理を徹底し、県を代表するブランド米としての「富富富」生産に取り組みましょう。



「コメ好き県民のイチオシ米」
一丸となって、ブランド米に育てよう!!

1 育苗管理

- 育苗期間が高温傾向のため、積極的に換気を行い、がっしりとした苗に仕上げましょう。

2 適切な田植作業の実施

流通基準違反は、県全体の信用失墜につながります。必ず守りましょう。

<流通基準>
・検査等級：1等
・化学合成農薬の成分使用回数：12以内

<品質目標>
・玄米水分 … 14.5~15.0%
・玄米蛋白含有率(水分15%換算値) … 6.4%以下

- 田植時期が早いほど乳白・心白粒が発生し、品質・食味総合値が低下する傾向にあります。品質・食味の高位安定化のため、田植は5月15日を中心(5月6~20日)に実施しましょう。
- 乾燥調製作業をJAに委託する場合は、5月18~20日頃の田植としてください。
- 苗を購入している場合は、種子消毒剤と苗箱施薬剤の有無を必ず確認しましょう。
- 栽植株数70株/坪以上、植付本数3~4本/株、植付深さ3cm程度となるよう田植機を調整しましょう。

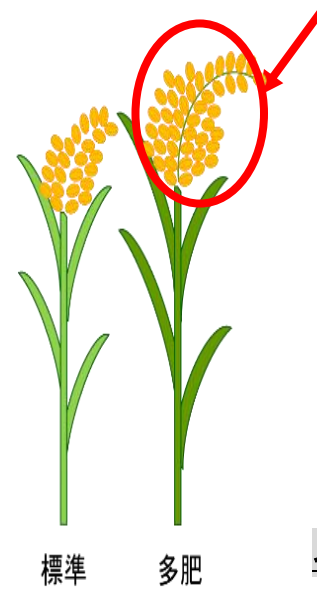
3 適正な施肥

- 施肥窒素量は、収量レベル540kg/10aのコシヒカリの2割減を基本とし、過剰とならないようにしましょう。
- また、R3年産で玄米蛋白含有率が6.5%以上の方は、必ず減肥しましょう。

表1 施肥基準

土壌区分	基肥一発体系		分施肥体系	
	肥料名	施肥量	肥料名	施肥量
砂壤土	富富富専用 全量基肥肥料 (21-10-19)	30kg/10a	基肥 206 (12-20-16)	27kg/10a
壤土 黒ボク土		25kg/10a		21kg/10a
粘質土		22kg/10a		19kg/10a

△施肥窒素量が多いと → 過剰粒粒となり、



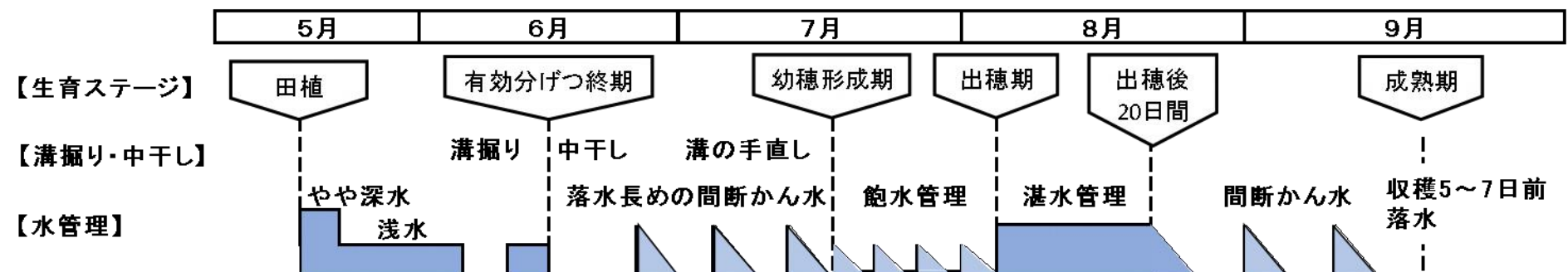
- 登熟のバラツキが大きくなる
- くず米が多く、収量は増加しない
- 乳白、心白粒、青未熟粒が増える
- 玄米蛋白含有率が高くなる

↓
収量・品質、食味が低下

4 水管理のポイント

- 田植後3日間程度はやや深水で活着を促進し、活着後は浅水管理により、分げつの発生を促進しましょう。
- 無効分げつの抑制、根圏の発達促進、適正な葉色への誘導のため、田植後4週間までに中干しを開始しましょう。
- 適正粒数に誘導するため、幼穂形成期までは落水期間が長めの間断かん水を行いましょう。
- 稲体や根の健全化のため、幼穂形成期から出穂期まで飽水管理を行いましょう。

《生育期間を通しての水管理のイメージ》



5 雑草防除

- 除草剤の使用にあたっては登録内容を遵守するとともに、必ず成分数を確認しましょう。(防除体系は別紙参照)
- 除草剤の効果を上げるため、散布後5日間は5cm程度の水深を保ち散布後7日間は落水しないでください。

次回の「富富富」通信(第2号)は、7月10日頃の発行予定です。